

みつめたみよしの
はつらっさん



大好きなこのまちに恩返しをしたい

長 得三さん(三好丘旭)

46年間刑務官一筋。全国15力所の転勤を経験し、各地で管理部長や事業部長を歴任した長さん。退職した現在も受刑者の更正に役立てばと篤志面接官として、名古屋刑務所で月に1、2回の講話を行っています。「講話で話す内容を考え、常に世間に向けて話題を探していることが元気の秘けつ。65歳を過ぎ、退職をしてから何事にも心の余裕が出てきました」と生き生きと話します。

三好で暮すようになり、地域への恩返しがしたいと考え、平成10年に三好丘旭地区の老人クラブを立ち上げました。「新しい地区では、お年寄りが仲間と知り合う機会が少ないと感じ、親ほくの場になればと思っただけです」といっこり。今では仲間の皆さんと共に、子ども会への協力や環境美化活動に大忙しです。

これからも元気に活動を続けてください。

▶▶▶プロフィール

おさ・とくそう 昭和4年生まれ。趣味の将棋は二段の腕前。文化協会将棋クラブの部会長を8年務め、集会所で子供将棋教室を行うなど精力的に活動している。玄関前の信楽焼きのタヌキの置物がお気に入り。タヌキの姿形の由来である「八相縁喜」を生き方の参考として、講話の題材に何度も話をしている。



みよっ子
みよっ子

北中学校

剣道部

今回は北中学校の剣道部を紹介
します。顧問の大成康臣先生と主
将の林佑樹君に話を伺いました。



蒸し返すような暑さの武道場で、涼しい顔で正座をし、防具を身に付けていく部員たち。練習が始まると2、3年生の8人は、防具と共に凛とした独特の雰囲気も身にまといます。

個性豊かな部員たちをまとめる主将の林君。「試合に勝った時はもちろんですが、厳しい練習をみんなで乗り越えたときの充実感は格別です」と剣道の楽しさについて話します。

強くなりたいたい一心で互いに注意し合い、切磋琢磨する部員たちを支える大成先生。「礼儀作法は当然のことですが、個人スポーツであっても全員で高め合っていくという雰囲気作りを心掛けています」と温かく見守ります。

大会に向けて厳しい練習が続く中「目標は西三河大会への出場。まずその出場権を得るための豊田・三好大会で3位以内に入ることです」と林君は抱負を熱く話します。



お誕生日コーナーの応募者で希望する人は、お子さんの写真をひまわりネットワーク・ク・さんさんチャンネル「みよしTODAY」の番組の中で紹介します。

おめでとう
おたんじょうび
5月



「パソコンも一人でできちゃったよ」
元気で活発なりくくん。晴れた日にはいつも公園で三輪車の練習をしているんだよ。パソコンだってお手の物。機関車トーマスのホームページがお気に入り。初めから終わりまで一人で操作ができるりくくんは「優しくて心の広い子になってね」とお母さん。

大塚 陸斗くん(三好丘)
おあつかりくと
父・智弥さん 母・知子さん
平成17年5月13日生

出場者募集

「7月のお誕生日コーナー」
▼応募期間 6月2日から4日まで
▼対象 7月生まれで3歳未満の児
▼応募方法 秘書広報課へ電話 ☎(32)83357
※5月生まれの応募は、10人でした。(抽選で掲載決定)



「誰よりもすぐ仲良くなれるよ」
お母さん「はじまり」とお茶を出してあげるけいとくん。外で遊ぶのが大好きで、お父さんにもうったグループでキャッチボールをして遊ぶよ。妹の結ちゃんをガラガラであやしてあげる優しいけいとくんは「アンパンマンみたいに強くなつてね」とお母さん。

村瀬 敬人くん(三好丘桜)
むらせ けいと
父・義宜さん 母・友美さん
平成17年5月25日生



Miyoshi
no
Bungei

俳句

三月や踏む畦どこか弛み来し
三月の土と語らう農夫かな
三月の別れは門出晴れやかに
田楽の味噌味残る母惚ぶ

加藤翠苑子
足立 梅光
吉開 進
原田 米子

短歌

春立ちてよき事ひとつ舞いきたる孫さずかると
嫁大声で
吾が袖に白き波紋を残しつつちらちらと降る昼
の初雪
むらさきの千代紙選び花びらの反りやわらかき
児の折る寒あやめ

大島 岡子
大田 春子
梶山とし子

狂俳

若鮎
漁協が夢を放流す
和服の女
優雅に京の心着る
ワンマン
絶対的な巾利かす

鈴木 典章
林 星童
近藤 正月

相互理解と交流を深める

中国大学生日本社会調査団来訪

日本の産業や行政、教育について学ぼうと4月20日から27日まで、愛知大学の交流大学である、中国の浙江大学の学生10人が来日しました。役場を訪問した馬安東団長は「三好の良いところを見つけて、多くのことを学びたいです」と日本語で抱負を述べました。調査団は、トヨタ自動車のほか、歴史民俗資料館やふるさと会館などを見学し、三好中学校では授業や給食を体験。日本文化に触れ調査や研究を通して相互理解を深めました。



各競技で熱戦を展開

三好町長杯争奪中学校総合体育大会

三好町長杯争奪中学校総合体育大会が4月25日、三好公園総合体育館などで開催されました。テニスや柔道など8競技で争われたこの大会。三好公園野球場で行われた開会式では、三好中学校3年生の里園公墓君が「日ごろの練習成果を十分に出せるよう精一杯頑張ります」と元氣良く選手宣誓を行いました。各会場とも選手たちは、仲間や監督からの声援を受けながら熱戦を展開。勝利を目指し、持てる力を存分に発揮していました。



きれいな草花をお値打ちに

シルバー直売会

シルバー人材センターの会員の皆さんが丹精込めて育てた草花などをお値打ちな価格で販売するシルバー直売会。今年は6回の開催を予定し、その第1回目（4月15日）に行われました。今回はチューリップやパンジーなどを販売。色とりどりの目を引く草花が並べられ、大勢の人でにぎわいました。女性の一人は「直売会の花は、きれいで値段もお得なので毎年来ています。次回も楽しみです」と笑顔で話していました。



夏野菜づくりに挑戦

生き生き農業塾開塾式

実習体験を通じて農業技術を学ぶ生き生き農業塾。その夏季講座が4月19日、JAあいち豊田三好営農センターの畑で始まりました。今回栽培するのは、ナスやトマト、メロンなどの夏野菜。12人の塾生は、豊田加茂農林水産事務所の水野睦美むつみさんから作り方の基礎について説明を受けた後、積極的に質問をして理解を深めていました。参加者の一人は「頑張っておいしい野菜を作りたいです」と意気込みを話していました。



リフォームで新たな命を吹き込もう

衣類リフォーム教室

使わなくなったネクタイをリフォームしてポシェットを作る衣類リフォーム教室が4月18日、尾三衛生組合エコサイクルプラザで開かれました。教室には、三好町、日進市、東郷町から16人が参加。講師の中島安子なかしまやすこさんからアドバイスを受けながら、参加者は裁縫道具を手にポシェット作りに挑戦しました。女性の一人は「自分用に作ってみて、上手にできたら友達にも作ってあげたいです」と意欲的でした。



春の陽気の中、全力でプレー

町長杯テニス大会

町長杯テニス大会が4月13日、三好公園テニスコートで行われました。今年は町内外から総勢28人がダブルスで参加。春の陽気の中、選手たちは全力でボールを追い続けて汗を流していました。男子ダブルスの部で優勝した長瀬尚久ながせのほしひささんと依田憲明よしたののりあきさんは「決勝戦では最初相手にリードされ、負けてしまうのではないかと思います。何とか逆転して勝つたので、喜びもひとしおです」と息を弾ませながら話していました。

